



・発行者・
京都障害者
スポーツ会
振興会
題字 芝田 徳造

カラーラ京都の

ボッチャを応援する想い

カラーラ京都 総合企画室 田中孝洋

「カラーラ京都はボッチャを応援します。」

私たちがそう想ったきっかけは、京都府のオールトヨタ販売店で京都府内のマラソン大会を応援をしていたときでした。

マラソン大会の応援の一環で交通安全の啓蒙と。パラスポーツの紹介をしていたとき、私たちはボッチャに出会いました。

最初は特に深く考えず、パラスポーツの紹介の中の1つだったのですが、ボッチャを紹介しているときに、あることに気づきました。

「これは誰でもできる」なにより「たのしい!」これがボッチャ応援のきっかけとなるまず第一歩でした。

私たちはボッチャを紹介するときに、まずみなさんに体験してもらおうことからはじめ

ました。

「ボッチャしませんか?」この声かけに「ボッチャってなに?」という返事がほとんどだった

覚えがあります。たまに、「あー、パラリンピックでみた」というかたもいらつしやいましたが、ほとんどのかたは、ボッチャをご存知ありませんでした。私たちは少しでもボッチャに興味を持たれた方々にボッチャがどういうスポーツであるかを説明し「まずは体験してみま

しょう」と一緒にボッチャをはじめます。するとみなさん「これ面白い!」とすぐにルールを理解され、中にはもう1回したいという方も少なくありませんでした。お一人が体験される、すぐに体験コーナーの周りに人の輪ができて、「私もやってみたいんですが...」と声をかけていただけるようになります。特にお子さんたちは、長い列をつくって順番を

待ってもやってみないと興味津々です。私が1番感激したのは、お子さんとおじいちゃん、学生さん同士、ご夫婦と一緒に対戦をしている光景です。まさに老若男女とわずにできるスポーツなんだと感動しました。そしてこのスポーツが広がれば、もつともつと沢山のヒトとの繋がりがひろまってくるのではな

いかと考えるようになりまし

た。そして京都府の各マラソン大会の応援しているときだけでなく、当社が参加するイベントでは、ボッチャの紹介がふえてきました。どの会場でもボッチャの紹介をする、とすぐに

沢山の人があつまり、いつも体験してもらおうのに長い時間お待ちいただくこととなりました。そして回数をかさねるにつれ、もつとボッチャを広めたい、もつと地域のみなさんと

のつながりを増やしたい、ボッチャを応援したいとおもう気持ちが高まってきました。

当社は50年以上京都でトヨタカラーラ京都として自動車販売にたずさわっており、この長い年月営業してこられたのは、地域のみなさま

にご愛顧いただいた結果です。当社には5つの企業理念があり、そのうちの1つが「地域の皆さんとの和」を大切にしたい、というものです。生活に不可欠な車だからこそ、地域に

密着した活動やイベントにも積極的に参加して

いきたいと考えております。地域のみなさまとのつながりがあつたからこそ、当社のいままでとこれからあるのだと考えています。そしてそのつながりを深め広げていく方法の1つとして、誰でもすぐにたのしめるボッチャは理想的でした。

私たちはボッチャを応援すること、もつと沢山の方々との繋がりを増やし、いままでの繋がりを深めたいと考え、ボッチャを応援する企業となろうと考えました。

ただ、最初は漠然とそうした想いが芽生えましたが、実際に私たちが何ができるのが、そもそもどうやって応援しているのか、何をしたらいいのか、そうした疑問や、わからないことがでてきました。

ちょうどその頃、2月に開催された京都マラソン2017で応援ブースを運営していたときに、京都障害者スポーツ振興会様とお話しする機会がありました。そして、私たちの想いや、わからないと思っ

ていることを伝えると快く「いつでも相談のりります。わからないことがあつたら一緒に考えましょう」と言っていた

時が、「これならやっていたら」と確信をもてた瞬間でした。

(裏面へ続く)

行事予定	8月	20(日)	第37回全京都障害者総合スポーツ大会 水泳大会	京都市障害者スポーツセンター	来月の つどいは
		27(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
	9月	3(日)	第33回全京都車いす駅伝競走大会	丹波自然運動公園・周辺道路	9 / 10
			第27回ミニ駅伝競走大会		
10(日)	第37回全京都障害者総合スポーツ大会陸上競技大会	京都市西京極陸上競技場			
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX 075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2017年5月5日に一部更新)					



(写真はトヨタカローラ京都のホームページから)

(表面より)

そして、2017年6月24日に、当社の社内行事であるカローラ生誕50年を記念した花冠イベントに、京都障害者スポーツ振興会会長の森津様をお招きし、カローラ京都が企業としてボッチャを応援します！という出発式をとりおこなうにいたしました。

当社もまだまだ勉強不足ではありますが、これからボッチャに興味をもつていただけるかたが沢山増えるように応援してまいります。京都ですでにボッチャを応援されているみなさま、ボッチャ未経験のみなさま、一緒にボッチャを応援しましょう！

スポーツのつどいに 参加して

古川 睦

去る七月二十五日、私は佛教大学ボランテニアサークル「しゃいばん」の一員として、障がい者スポーツのつどいに参加させていただきました。

この日は、午前がスタッフの方々とボランテニアによる車いす競技学習会が、午後からは実際に障がいを持たれた方々をお迎えしてスポーツのつどいが行われました。スポーツのつどいには、小さなお子様からおじいさんおばあさんと呼ばれるような高齢の方まで、幅広い年代の方々が参加されました。私は、この一日を通して二つ印象的だったことがあります。

一つは、車いす競技学習会で生まれて初めて車いすに乗り、操作をさせていただいたことです。車いすの操作は、傍から見ると簡単そうに思えるかもしれませんが、実際やってみると、ちよつとした目測の誤りや力の入れ加減によつてどんどん自分の思う進路からずれてしまい、なかなか難しくなりました。また、ここでは普段から車いすを使つていらっしゃる方にお手本を見せていただきました。その方はとても

も正確な操作で、かつスピードもあり、とても驚きました。普段なかなかこういうことはないのも、とても良い経験させていただいたと嬉しく感じています。

そして、二つ目に印象的だったのは、つどいに参加された方の生き生きとした姿です。風船バレーという競技をしている際には、得点が入るたびに歓喜の声を上げて仲間とハイタッチをかわし、その他のコーナーでは積極的に輪の中に入り、「自分にもやらせて」というような合図を出して来られる方もおられました。それらの姿からは、このつどいを本当に楽しんでいてくださるのだということがひしひしと感じられ、傍にいた私の心までが明るく弾む思いでした。

最後にはスタッフとボランテニアによるミーティングが行われ、今回初めて参加された中国人留学生の方が「本国では障がい者支援がここまで進んでいない。日本のこのように取り組みを参考にしていきたい」という旨のことをおっしゃいました。私も、日本のいや世界の障がい者支援がもっと充実していくといいなあと思います。そして、その一歩として五百二十六回と回を重ねたこの集いがこれから先、末永く続くことを願っています。今日のこの集いは、様々な勉強

や貴重な経験をさせていただいた、とても有意義な一日でした。

私たちが学生ボランテニアを受け入れてくださった障がい者スポーツのつどいスタッフの皆様さん、本当にありがとうございました。

2017年車いすフェンシング

日本選手権大会 ・国際親善大会

日時
10月13日(金) 武器点検
合同練習
14日(土) 審判・指導者講習、
合同訓練
15日(日) 車いすフェンシング
日本選手権大会

会場 京都フェンシング競技
ナショナルトレーニングセンター
(元山王小学校 京都市南区
東九条東山王町27)
参加国 日本、香港、タイ、
韓国

競技種目

- ・男子個人戦(フルール)予選
並び決勝トーナメント
- ・女子個人戦(フルール)予選
並び決勝トーナメント
- ・男子個人戦(サーブル)予選
並び決勝トーナメント
- ・女子個人戦(エペ) 予選並び
決勝トーナメント

主催

NPO法人日本車いす
フェンシング協会

連絡先

NPO法人日本車いす
フェンシング協会

第37回全京都障害者

総合スポーツ大会

参加資格
京都府内に在住・在勤・在学し、障害者手帳(身体・知的・精神)を所持する12歳以上の人。

アーチェリー大会の部

日時 9月24日(日)
場所 南丹市日吉総合運動
広場

申し込み締め切り
8月19日(土)必着

フライングディスク大会の部

日時 10月1日(日)
場所 京都府立丹波自然運
動公園体育館・補助
競技場

申し込み締め切り
9月2日(土)必着